

この紙のゴール：自分の意見を、別々の理由2つと具体で支えて書ききる

お題

Should students be allowed to use AI to help with their homework?

生徒は宿題にAIを使ってよいか。賛成か反対かを決めて、あなたの意見を書きなさい。（80語くらい）

思考・判断・表現

書く前に

1. 日本語で理由を2つメモする（30秒）。英語にするのは、中身が決まってから。

2. 設計図の順に英語にする。1ブロック＝1～2文。行が余ってもブロックを飛ばさない。

30秒メモ

日本語でよい。理由を2つ（ここが決まれば、あとは型に流すだけ）

理由1	
理由2	

設計図

この順に書く

1	立場（1文）	賛成か反対かを1文で。ここで迷いを見せない。 I think students should (should not) be allowed to ...
2	理由1 + 具体（2文）	理由を1つ書き、そのあとに場面を1つ（いつ・どこで・何が）。
3	理由2 + 具体（2文）	1つ目と別のこと。言いかえ（便利／役に立つ）にしない。
4	譲歩と反論（1文）	相手の言い分にふれてから、切り返す Some people say that ..., but ...
5	結論（1文）	立場をもう一度。新しい理由は足さない。

書き出し語のない行は、自分で書き出しから決めます。

書く

80語くらい

思考・判断・表現

読み返す

書けたらペアで交換して、この3つだけを見る

☐ 理由が2つ、別のことになっているか（入れかえても意味が変わらないなら同じ理由）

☐ それぞれの理由に、具体（場面・数・経験）が1つあるか

☐ 相手の言い分にふれて、そのあと切り返しているか

宿題にAIを使ってよいか（標準） | モデル答案と採点

モデル 和訳なし（読み上げて型だけ確認する用）

モデルA（賛成・80語）

I think students should be allowed to use AI for their homework. First, AI can explain a hard point right away. When I get stuck on a math question at night, I can ask and keep going instead of giving up. Second, AI can check my English writing and show me my mistakes before I hand it in. Some people say that students will just copy the answers, but a rule such as showing your steps can stop that.

モデルB（同じ立場・43語） ※直したい答案

I think students should be allowed to use AI for their homework. First, it is very convenient. It helps us a lot. Second, it is useful for studying. We can use it anytime we want. So I think AI is good for students.

どこで差がつくか

AとBのちがいは、英語の難しさではありません。点差がつく場所を3つ挙げよう。

①理由が2つ立っているか（Bは「便利」「役に立つ」で同じことを2回）②具体があるか（a math question at night / before I hand it in）③相手の言い分にふれて切り返しているか。Bは1文も間違っていないのに点が伸びません—ここを先に見せると、生徒の書き出しが変わります。

理由が2つに見えて、実は1つ	「便利」「役に立つ」は同じことの言い換え。First と Second を入れかえて意味が変わらなければ同じ理由—生徒が自分で判定できます。
For example のあとが抽象のまま	For example, it is useful. は具体ではありません。「いつ・どこで・何が」を1つ。日本語で場面を言わせてから英語にすると速いです。
because でつなぎ続けて1文が伸びる	理由は First / Second で切って1文ずつ。because は1文に1回まで、と決めるだけで構成が見えます。
譲歩を書いて、切り返しを書かない	Some people say ... で終わると、相手の意見を紹介しただけになります。譲歩は「認めて→切り返す」で1セット。

評価 加点式9点（減点式にしない）		
最初と最後に、同じ立場が示されている	+2	思判表
理由が2つ、別のこととして立っている	+2	思判表
それぞれの理由に具体（場面・数・経験）がある	+2	思判表
相手の言い分にふれ、切り返している	+2	思判表
通して読んで意味がとれる（細かい誤りは数えない）	+1	知技

定期テストの自由英作に移すときは内容3・構成3・言語4の10点が扱いやすい配点です（言語を減点式にすると、書く量を減らした生徒が有利になります）。

40人を回す 週1で書かせても採点で潰れないための手順

- ・30秒メモは必ず取らせる。理由が1つしか出ない生徒が机の上で見えるので、机間指導はその生徒だけで済みます。
- ・全員を毎回添削しない。ペアで「3つの目」を3分 → 教師は理由が2つ立っているかだけを○△で見る（1枚1秒）。
- ・記号添削は抜き取り8人／回。5回で40人が1周します。返却は、良い答案2本を匿名で映すほうが赤入れより速く効きます。

3つの版の使い分け 論題・書く型・測る力は3版共通で、変えているのは支援の量だけです（基礎＝理由の候補と書き出し語を全部／標準＝立場と譲歩だけ／発展＝型のみ、譲歩に切り返しの1文）。同じクラスで配り分けても、答案は同じ観点で並べて読めます。